

おおた  
太田生涯学習報

# はばたき

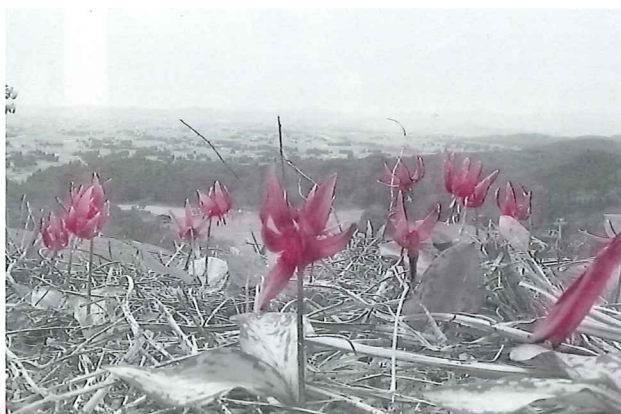
■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田分室・太田公民館  
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3  
TEL0187-88-1119・FAX0187-88-2044

## 目次

表紙・・・カタクリ、結団式、AED講習会、  
 .....通学合宿、ふるさとのうた  
 学びい教室 番外編.....2P  
 太田図書館から おはなし会.....3P  
 再確認された鈴木空如の技と心.....4P  
 公民館冬期講座・花いっぱい運動表彰.....5P  
 スポーツプレイバック・表彰.....6~7P  
 我が学び舎 この一年.....8~9P  
 チャレンジデー in おおた・編集後記.....10P



スポーツ少年団太田支部結団式  
一年間の元気な活動を決意し、みんなでロープジャンプに挑戦しました。



大台スキー場に広がるカタクリの群生  
中腹に咲いている可憐なカタクリ。めずらしい白いカタクリに逢えるかも。



通学合宿  
9年続いている通学合宿。今年は昔ながらのコマ回しを体験。



AED講習会  
万が一に備えて、レスキュー隊員から指導して頂きました。

## ふるさとのうた

冬来たりなば 春遠からず

モノトーンの世界に埋められ、寒さに体を固くしていたふるさとの冬も間違いなく春に脱皮します。蛹が蝶に変身するように。

清明の駅を過ぎた頃には、お日様がやっだらど熱くなって、キャンドがポンポンジグなる。気持ちもお日様色になって暖かい。

ふるさとお花見どころ今回は、横沢公園を紹介します。

埴生の宿から横沢公園まで半里。ぐ〜たらぐ〜たら

歩いても否応なしに公園へ届くのです。テニスねえさんや野球にいさんの声が近く遠く耳に心地よいです。

ジョギングコースを逆まわりして堤橋を渡ると、数万のスイセンが黄色い笑顔で僕を迎えてくれます。

スイセン、桜木、菖蒲園。スイセン、桜木は穀雨の頃。菖蒲園は夏至の頃が見ごろなんですよ。

芝生に腰を下ろして日向ぼっこしていると、そよ風がふるさとのうたを載せて水面を涉っていきました。

平成23年3月

太田公民館長 草薙 均

# 学びの教室

番外編

「野外活動」枝豆収穫・火起こし体験」

太田公民館では、夏休み・冬休みに小学生の勉強の手助けをする「太田学び教室」が今年度も開催されました。指導には、小・中学校の現役教員およびOB、高校生、地域のボランティア、公民館職員など。学校・家庭・地域の連携により子ども達の学力アップを目標に、自主学習をサポートしました。

夏休みの学び教室最終日に、番外編として、「自然観察・収穫体験会」を行いました。参加者は十二名。自然観察指導員・倉田陽一さんの協力のもと、太田球場近くの畑で枝豆を収穫後、大台スキー場のキャンプ場へ移動。枝豆を茹でるために、薪割りから火起こしを体験しました。ほとんどの子ども達が初めてとあって、最初はなかなか思う通りにいきませんでした。倉田さんのアドバイスを受けながら、みんなで協力してやっと枝豆が茹で上がりました。みんなで収穫した新鮮な枝豆を「美味しい」と味わい、太田の自然を満喫しました。



【とれたての枝豆を「美味しい」と味わいました】



【倉田さんからアドバイスを受ける子どもたち】

## 市芸術文化賞受賞！ 藤間知枝さん(日本舞踊・藤友会)

第5回平成22年度大仙市芸術文化賞受賞祝



【表彰式後の祝賀会で「清元 藤」を披露する藤間さん】

第5回大仙市芸術文化賞表彰式が2月12日、グランドパレス川端にて盛大に行われ、3個人・4団体が受賞しました。太田地域からは、藤間知枝(本名 飯塚知子)さんが功労賞を受賞しました。

藤間知枝さんは、4歳で藤間流藤扇会に入門、以後57年、日本舞踊一筋に修練されました。藤扇会より平成16年に独立し「藤友会」を結成し、大仙市内に教室を設けて活動し、全国の芸術祭等に県代表として出演するなど演技力には定評があります。永年の普及活動や後進への指導など、地域の芸術文化の振興に大きく貢献した功績が認められ今回の受賞となりました。

## ☆わが町の「輝人」さん☆



鈴木 善治さん (上南)

「一生ゲートボール 一生健康」

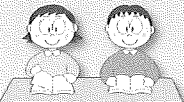
太田町ゲートボール協会の会長となつて数年、自分も今では九十一歳となり年毎に身体の不自由さを感じるようになりました。ゲートボール協会へ若い人達も加入はしてくれませんが、なかなか思うような人数は加入してくれず、苦慮しております。

年長者になつてもできる適当なスポーツとして、軽い運動にもなるし又作戦上頭も使える良いスポーツだと思ひます。

この良い点を若い人達から理解していただき、多数加入して下さる事を心から願ひします。

私も健康なかぎり、ゲートボールに親しんでいきたいと思つております。





# 太田図書館 子どもの読書活動を推進

## ブックスタート事業 絵本をつうじて親子のふれあいを支援

市内図書館では、平成22年4月からブックスタート事業を実施しています。4カ月健診時にボランティア、図書館職員が読み聞かせをしながら、絵本をプレゼント。絵本を通して赤ちゃんが楽しくあたたかいひとときを過ごせるよう支援していきます。



【いろいろの会による「おしくらまんじゅう」の  
パネルシアター】

平成二十二年十一月十八日、太田ひがし幼稚園を会場に、読み聞かせボランティア「いろいろの会」による「おはなし会」が行われました。当日は、祖父母参観日。「おおきなななぶ」のエプロンシアター、「おしくらまんじゅう」のパネルシアターなどのおはなしがありました。祖父母と孫と一緒に、楽しい時間を過ごすことができました。

また、平成二十三年二月二十二日には、県子ども読書支援センター支援員 加々谷佐紀子さんを講師に、「おはなし会」その後、保護者の方

## おはなし会



【2月22日のおはなし会の様子】

を対象に「絵本といっしょに楽しく子育てを」をテーマに講話をしていただきました。ご自身の子育ての経験などから、子どもにどのようなしたら、本に興味をもってもらうことができるか、絵本を通して楽しく子育てをしてもらいたいという内容でお話ししていただきました。

このように、市では子どもが本との出会いによって豊かな心の世界を広げる機会を支援しております。また、太田図書館には、絵本をはじめ児童書を多くそろえておりますので、ぜひ太田公民館内にある太田図書館をご利用ください。

## ☆わが町の「<sup>きじん</sup>輝人」さん☆

Vol. 20



高橋 広之さん  
(惣行)

## 「太田の火まつり」

太田の火まつりには、独特のおもむきがある。

それは地域に根をおろした、古さと新しい感覚の冬のイベントとして現在に至っていることです。小正月行事として雪中田植え、かまくら焼き、天筆、紙ふうせん上げ、メインイベントは冬の空の花火の打ち上げである。

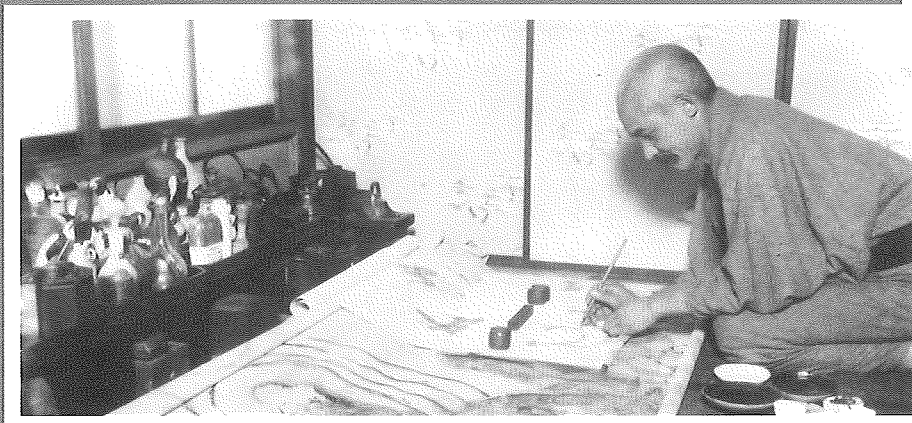
冬の花火は、当時の太田町連合青年会が始めたものである。

あれから三十年、この日に合わせて都会から里帰りする人や冬のふるさとツアーで遠来の参加者も多くなってきた。三十年続いた「太田の火まつり」かつての子ども達は、今は親になり我が子連れで集まってくる。

今後も伝承するには地域の連帯感が大事であり、観光をはじめ行政、教育面、地域力のすべてにおいて古さと新しい感覚をうまく取り入れることが大切かもしれない。火まつりが終わると雪深い奥羽の山里にも春の光りを感じる。

# 再確認された空如の技と心

## ～ 進む空如作品の調査から ～



梵号  
毗輪味達度麻都摩訶毗盧遮那菩薩坦他誡多  
南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛 南無阿彌陀佛  
大日如來  
空如遍照金剛 又名无障金剛



内色

宰相 智孝  
種子 寺  
三昧耶形學觀婆  
空如

鈴木空如は、仏画研究に生涯をかけた私たちの太田が生んだ偉人です。空如の画業や生き方を顕彰しようという活動は、空如が亡くなった六十年ほど前から行われています。そして、二年前からは日本美術史研究の第一人者である有賀祥隆氏（東北大学名誉教授、東京藝術大学客員教授）、泉武夫氏（東北大学教授）の二人を専門指導顧問とした、「鈴木空如調査研究事業」が実施されています。この調査によって、作品の特長や原典所在などの空如の画業が明らかになってきました。

### 仏画のルールを守る

今年度は、空如が大正五年（一九一六）から十二年計画で編纂を取組んだ「聖尊画像」の全体像を把握することができました。これは生家の親類でもある空如が亡くなった箱根吉池旅館・鈴木壮治氏が所蔵されている二千二百点もの作品の中に含まれていたものです。

この「聖尊画像」は、空如が年々話していた「仏画を描くためにはルールがあり、最近では仏画の描き方が乱れているが、それはそのルールを簡単に知る機会がないため」という思いから、仏画の教科書のようなものを作らなければならぬと計画したものです。

### 空如の思いと画業

この計画は成就しませんでした。空如は明治という時代に生れ、その時

代に生きた人々がそうであったように、新しいものを積極的に学び、ひたすら自己を研さんし、自分の才能を社会にどう役立てていくのか、と考えていた人であったことがわかりました。空如の残した精緻（こまかく精密）な作品は、そうした思いが結集したものです。そして有賀先生らによると、「空如は高度な描写力を持っていることと、模写対象を選ぶ素晴らしい審美眼、それに加え描く速さも並大抵のものではない。一人の仏画家が残した作品としては他に類はないだろう」と話しています。

### 後世に伝えたい

市では、子どもたちに空如の勤勉であることや努力することの大切さや自分と社会とのかかわり方を考えてもらえるよう、今後も作品の展示や講演会なども行っていく予定です。

# 暮らし いまいき 公民館冬期講座



押し花講座



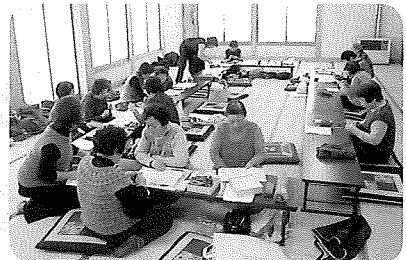
やきもの講座

今年度も10月のやきもの講座に始まり、料理・生け花・押し花・編み物・パッチワーク・ITと7つの冬季講座を開催し、たくさんの方々から参加していただきました。

やきもの講座は夜間に開催していることもあり、昼にお勤めしている若い方の参加もあり、熱気にあふれておりました。初心者の方も多かったのですが、講師の先生の指導のもと楽しみながら自分のイメージを作品にしておりました。来年もまた受講したいとの声がとても多かったです。

編み物講座は毎年、受講する方が一番多い人気の講座です。今年も多くの方が受講し、講師の先生に聞きながらたくさんの作品を作成しておりました。受講者の皆さんは試行錯誤しながら、ものづくりの楽しさを楽しんでいたようでした。

公民館ではこれからも楽しみながら自発的に学べる学習機会を提供することにより生涯学習社会の実現のためのお手伝いをまいります。



編み物講座



料理講座

# 花いっぱい



第46回全県花だんコンクールの表彰式が10月29日に秋田市の遊学舎で行われました。また、太田地域花いっぱいコンクールの表彰式が8月28日に太田文化プラザで行われました。今年度は記録的な猛暑、豪雨により花の管理の難しい年でしたが、あふれる熱意により次の方々が上位入賞されています。(敬称略)

## 全県花だんコンクール

- 《特別優秀賞》太田南小学校 (秋田県教育長賞)
- 駒場新生会 (秋田魁新報社賞)
- 小神成花の会 (秋田魁新報社賞)
- 後藤圭子 (秋田県花いっぱい運動の会会長賞)
- 高貝ヨシエ (秋田県花いっぱい運動の会会長賞)

- 《モデル花だん指定》太田中学校・太田みなみ幼稚園
- 《花いっぱい運動功労賞》高橋武男

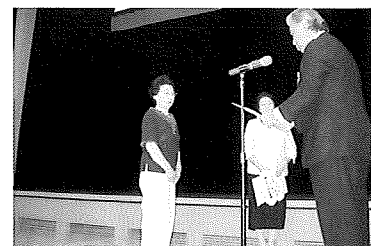
## 太田地域花いっぱいコンクール

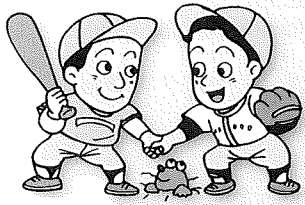
### 【家庭の部】

- 《優秀グランプリ賞》後藤圭子・高貝ヨシエ
- 《特別優秀賞》佐々木英子・高橋セツ子・高橋武男・野中キクエ・大澤貞・田口明子・藤原サチ・伊藤和子・小松冷子

### 【団体の部】

- 《特別優秀賞》太田中学校・田ノ尻集落花だん・南小神成花の会・北小神成花の会・田ノ尻親子地域花だん・太田ひがし幼稚園・太田みなみ幼稚園・東今泉フラワー会・下南地域花だん・駒場新生会・太田北小学校・小曾野道路花壇・高橋親子会花壇・太田南小学校





# スポーツ プレイバック



## 少年少女野球教室inおおた

5月4日、大仙市営太田球場において2010少年少女野球教室inおおたが行われました。秋田県出身者を含む元プロ野球選手5名の方を講師として迎え、準備運動といった基礎からみっちり指導を受け、講師が投手をつとめ実戦形式のバッティング練習も行いました。

- 【講師】 村田辰美（元近鉄・横手市出身）  
 山内英雄（元大洋・秋田市出身）  
 村岡耕一（元大洋）  
 小西秀朗（元国鉄・秋田市出身）  
 近藤幸造（元読売巨人・男鹿市出身）



## チャレンジデーinおおた

5月26日、太田地域全体においてチャレンジデーinおおたが行われました。このイベントは、15分以上継続して何らかのスポーツをした住民の参加率を同規模の自治体と競い合います。太田地域は大分県豊後大野市緒方町と対戦し、太田地域の参加率60.4%、緒方町の参加率61.6%と惜しくも敗れましたが、初出場ながらも大健闘の結果となりました。

## てくてくウォーキング

6月5日、奥羽山荘に隣接するサイクリングロード「トパーズロード」において、てくてくウォーキングが行われました。当日は晴天に恵まれ、29名の参加者は周囲の自然を楽しみながら真木関根公園までの片道5キロコース、そこからスタート地点までの往復10キロコース歩き、心地よい汗を流しました。



## 秋田県親善ゲートボール太田町大会

6月15日、秋田県親善ゲートボール太田町大会が大仙市太田多目的運動広場で行われました。21回目となるこの大会は県内各地から40チーム・225名の方が参加しました。晴れ渡った空の下、はつらつとしたプレーが随所に見られました。優勝は沢内チーム（大仙市協和）が勝ち取りました。

## 秋田太田南部忠平杯 グラウンド・ゴルフ大会

9月11、12日に第18回秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会が行われ、全国各地から574名のプレーヤーが参加されました。当日は強い雨も降り、あいにくのコンディションでしたが、横手市の佐々木勇一さんが熱戦を制し南部忠平杯を、またゲストプレーヤーと同打数の方に贈られる特別賞を横手市の長谷川昭さんがそれぞれ手にしました。この二人には沖縄県宮古島大会出場の切符が与えられました。



## 奥羽太田ロードレース大会

10月10日、第12回奥羽太田ロードレース大会が奥羽太田ロードレース大会特設コース（日本陸上競技連盟公認コース）で行われました。時折小雨のぼらつく天気でしたが、県内外から337名の参加者たちは日ごろ鍛えた自慢の健脚を競いました。

## 大台大回転(タミヤカップ)スキー大会

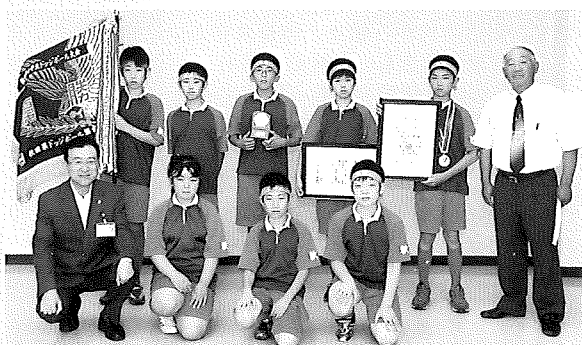
2月19日、第21回目となる2011大台大回転(タミヤカップ)スキー大会が大台スキー場で行われ、県内各地の小中学生204名が参加しました。全長1,008m、34旗門で争われ、将来のメダリスト達が日ごろの練習の成果を競いました。



草薨隆雄さん



藤倉辰見さん



太田風の子スポーツ少年団6年生のみなさん

## 表彰

大仙市体育協会設立5周年記念式典が平成22年11月27日グランドパレス川端にておこなわれ、太田地域では草薨隆雄さんが功労賞を受賞されました。隆雄さんは野球審判の育成に尽力し、競技の発展、レベルの向上に貢献されました。

また、大仙市スポーツ賞授賞式が平成23年2月19日に大曲エンパイヤホテルにて行われました。太田地域では藤倉辰見さんが功労賞を、太田風の子スポーツ少年団が奨励賞を受賞されました。

藤倉辰見さんは旧太田町体育協会理事、副会長、会長を歴任され、地域対抗の「総合体育大会」を創設し地域連帯感の醸成につとめられました。

太田風の子スポーツ少年団は平成22年度に出場したドッジボール秋田県大会において優勝し全国大会に出場するなど活躍されました。

# この一年

行事から～

## 太田中学校

耐震補強工事で体育館や校舎の半分が使用できないデメリットを爽明学年生徒会スローガンのとおり「爽意工夫（創意工夫）」し、「みんなのaction 輝き放つ太中生」の姿具体的にメリットに変えて見せてくれました。

足場用ネットを利用し生徒会スローガンを設置した美術部と生徒会。文化プラザで音を磨き、駐車場で練習し、東北大会V6の吹奏楽部。300個のプリンターで伝統の花づくりに挑戦した花壇作業。二度の延長戦を制し、初の3連覇を飾り、全県3位の野球部。東北大会や県大会に駒を進めた卓球部、バレーボール部、ソフトテニス部、陸上競技、駅伝の活躍、等々。そこには学習でもトップクラスになり「文武両道」と言われる「今年ならでは」の太中の姿がありました。

そして、その活躍を地域のおかげと『感謝祭～みんなの声が今届く～』として太中祭を開催する生徒会の姿もありました。



太田の方々に元気を与え、感謝する気持ちをおぼやけなかった子どもたちのたくましさとおもしろさを本当にうれしく思います。

## 太田南小学校

今年度、本校の6年生は県の事業を受け、「私たち、ふるさと景観見守り隊！～未来に残したい太田の風景～」のテーマで、太田の散居村景観について学習しました。

授業は、自然観察指導員の倉田陽一さん（横沢）や、NPO法人アザサ基金（茨城県）の飯島博先生をゲストティーチャーに迎えて行われましたが、写真は、一連の授業の最後に、大台スキー場の上で飯島先生と「青空授業」を行った時の様子です。子どもたちは、ふだん何気なく見過ごしていた散居集落の景観が、人々の生活との深い関わりの中で築き上げられ、「日本の原風景」として文化的に非常に価値の高い景観であることを、授業を通して初めて知りました。

一連の特別授業の様子は、AKT秋田テレビが密着取材し、テレビで放映（15分の特集番組）されましたが、現在は県公式ホームページ「美の国あきたネット」にアップされています。太田南小学校のホームページからも視聴することができますので、ぜひアクセスしてみてください。太田地域のすばらしさが十分感じ取れる内容になっています。



## 県立大曲農業高等学校 太田分校

今年度の太田分校最大のイベントは、11月27日に中仙ドンパルで行われた「全校民謡発表会」です。中仙ドンパルのご厚意で、バックステージ・ツアーとセットで開催することができました。



太田分校では、4月から月2回のペースで「全校民謡講座」を実施し、三味線、尺八、太鼓など7部門に分かれて練習してきました。指導は、東エ子先生はじめ地元の民謡界の先生方7名にお願いし、生徒だけでなく先生方も各部門に分かれて一緒に練習を積んできました。今年度は最初であるということで、秋田民謡「長者の山」に挑戦しました。

発表会当日は、晴天のもと、約400名の方々が参加してくれ、中仙ドンパルのホールは、ほぼ満員となりました。太鼓部門の「飾山囃子（おやまばやし）」から開幕し、各部門の生徒・職員紹介、指導してくれたお師匠さん方の模範演奏、太田分校郷土芸能部の演奏に続き、全校生徒と全職員による「長者の山」合奏が盛大な拍手で始まりました。この取り組みは大成功を収め、アンケートには、「感動した」「すばらしかった」「来年もぜひやって欲しい」という声がたくさん寄せられました。

太田分校に、三味線や太鼓、尺八などをご寄贈くださった、たくさんの方々に、心よりお礼を申し上げます。

## 太田東小学校

今年度本校では、頑張らなければならないことを3つ決め、「サン（3）アップ運動」とネーミングして取り組んでいます。その一つに「掃除力のアップ」があります。

これは、掃除の時間を通して子ども達を育てる

ことです。明治時代から綿々と学校教育の中に掃除がありました。この掃除時間をもっと有効に活用し、「生きる力」を育てようとするのが「掃育」のねらいです。

本校では掃除活動を縦制で行っており、15分間の活動でこそできる指導に取り組んでいるところです。例えば、掃除だけに集中する、縦割り活動で協力する心、頑張ってきたことに達成感、学校のいろいろな物を大切に作る心、もっと早くきれいにできる工夫、掃除の技能の上達（雑巾やほうき、掃除機の使い方）等々を育てることがねらいです。何よりも、きれいな教室で学習できる喜び、そして学力向上（？）を・・・。「たかが掃除」、「されど掃除」、真剣に取り組むことによって、プラスの効果を望んでいるところです。







# 我が学び舎

～印象に残る～

## みなみ幼稚園

韓国LABO青少年の小・中学生11人が1月、幼稚園の雪寄せボランティアで来園しました。園児手作りの韓国の国旗と「アンニョンハセヨ」コールで出迎えると、笑顔の中学生になり、子ども達の緊張も一気に和らぎました。

白銀の雪を見ることのない国の中学生は、今年の豪雪に大はしゃぎで雪山のみかん取りゲームで中学生もリラックスしてきました。その後、日本に一番近い外国の人に、韓国の踊りや太鼓演奏、日本と同じリズムのうたを歌ってもらいました。園児からのお礼の踊りでは「かわいい」と、うれしい拍手をもらい大満足の子も達でした。また、給食体験の後に、韓国のお菓子をおみやげに頂き、始めて食べる食感と味に興味津々でした。

ALTのメリッサ先生との触れ合いを始め、本場の餃子づくりで中国文化、そして韓国の小・中学生と出前講座のパク先生からも韓国文化に触れることができました。子ども達が様々な国の人たちと触れ合い楽しい体験を通して、教育目標である、心豊かに育とうとする子ども達の姿に希望を感じました。



## 太田北小学校

今年で4回目を迎えた全校音楽劇。内容のベースとなったのは昨年度と同じ「スイミー」だが、5・6年生が話し合っ、テーマは「仲間」と決まった。それに伴い話の内容もかなり変え新しい役柄も増えた。

昨年度と同様に外部から演出・表現活動等の専門家やバンド演奏者等のスタッフを講師に招き、歌や演技の学習に取り組んだ。また、今年度は年度当初から、会場係・舞台係・照明係・衣装作り等をPTA研修部の事業として計画するなど、保護者の音楽劇に対する意欲も大いに感じられた。

前日の公開リハーサルや発表会当日(11月14日)では、照明や音響スタッフの見事な演出にも負けない位の演技と歌・踊りで、全校児童57名が自分の役を精一杯表現し学習の成果を発揮した。来場していただいたのべ約400名の観客も巻き込み、一体となって作り上げた音楽劇に、会場内は感動にあふれ、たくさんの拍手や賞賛をいただいた。



## おおた保育園

収穫真っ盛りの秋晴れの朝、国際教養大学留学生3人が、にこやかに当園に来てくださいました。どんな人たちが来るんだろうと子ども達は期待いっぱい、朝の挨拶からすっかり打ち解け仲良しになってしまいました。

本日は、国際教養大学生との交流の日。モリボの里の体験農園で「さつまいも掘り」を一緒に楽しむねらいがあります。留学生達は、アジア系で日本語も流暢であり、ドラえもんやアンパンマンの歌で、子ども達の心にすんなり入りこみ、小さな子ども達と仲良くなろうとする前向きな姿に好印象を受けました。

モリボの里では、園児と一緒に一生懸命さつまいも掘りをし、飽きてしまった子どもには声をかけて励まし、沢山の収穫に大満足。おやつタイムは、まだ出会って数時間も経っていないのに、すっかりじゃれあう無邪気な姿があり、交流して良かったと思いました。国際社会に向かって育つ子ども達の心に、留学生達との触れ合いは貴重な体験でした。来年も、この雄大な太田の自然の中で交流したいと思っております。



## ひがし幼稚園

『たくさん体を動かしておいしいものを食べる』という子どもたちが(もちろんお家の方、職員も)楽しみにしている行事があります。それは大台山で行われる山登りなべっこ会です。

今年度の行事はことごとく天気には嫌われた一年でしたが、行事当日…やはり天気は味方をしてくれませんでした。ものすごい東風(だしかぜ)が吹き、大人は風に流され「ん〜」と曇った表情でしたが、子どもは風の子、強風を受けて喜んでいる姿が印象的でした。

年少組から登る距離が徐々に長くなっていき、年長組は展望台のある大台山の頂上まで登ります。自分たちの足で一步一步歩いて登った先から見える景色は本当にきれいです。子ども達からは「たんぼぼ(年少組)の時は少ししか登れなかったけど、ひまわり(年長組)になったら一番上まで登れたんだよ!」というような声が聞こえてきて、子ども達自身、自分の成長を感じることができる行事でもあることを感じました。

山を下りてくるといい匂いがします。お家の人たちがなべっこを作って待っていてくれるのです。たくさん体を動かした後のおいしい食べ物は格別で、鍋を囲んであちこちから笑い声が聞こえてきます。親と子ども、職員の最高のコミュニケーションの場であることを感じました。



# 2011

## 今年も体を動かしましょう

# チャレンジデー in おおた

## 5月25日(水曜日)

まちとまちとがスポーツ(運動)を実施した住民の参加率を競うチャレンジデー。太田地域は昨年、初参加し見事銀メダル(参加率60.4%)に輝きました。これは初参加した全国の地域の中で、2位の成績でした!!!

今年は「スポーツの力で日本を元気に!」をスローガンに、体を動かして被災地へ元気を送りましょう。



どんな運動でも構いません。

太田のパワーを全国に見せましょう。

### 自宅でも、職場でも、田んぼでも

自分の好きな場所で参加しましょう

#### 問い合わせ

チャレンジデー実行委員会事務局  
(太田公民館内:おおたスポーツクラブ)

TEL 86-9460

FAX 88-2044

#### 編集後記

三月十一日に発生した、東日本大震災によりお亡くなりになられた方、ご遺族の皆様には哀悼の意を捧げますと共に、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地・被災者の皆様の復旧・復興をお祈り申し上げます。

平成二十二年度の太田生涯学習報「はばたき」第十四号をお届けします。

今年度から公民館への異動となり、いろいろな事業を通して感じたことですが、太田地域では「学びの教室」など、本当にたくさんの方のボランティアの方々のご協力により事業を実施しております。太田の方々の温かさをおためて実感しました。地域の子ども達を育てたい、ふるさとを大切にしたいという強い思いがあるからできることではないでしょうか。

これからも皆さんと共に地域のために出来ることを、太田公民館では支援していきたいと思っておりますので、よろしく願っています。

《編集委員》

草薨 均、安達成年、

草薨晶子、小松清仁、

高橋勝博、佐々木直幸

(草薨晶子)